価値創造モデル

SDGs・ESG視点を経営の中核とした価値創造を実践していきます。

塗料業界に関連する社会課題

気候変動

資源の有効活用・汚染の防止

多様性と人権の尊重

労働災害・健康被害

生活水準の向上

New Normal（新常態）の時代の新たな社会の実現

日本ペイントホールディングス株主価値最大化（MSV）モデル

強み1 成長する塗料業界のリーディングカンパニー

強み2 アジア・中国での圧倒的なポジション

強み3 積極的なM&Aを支える蜘蛛の巣型経営

強み4 先進的なガバナンス

NIPSEA

Bollig & Kemper

Dunn-Edwards

日本ペイントホールディングス

Betek Boya

日本ペイントHDグループ国内子会社

DuluxGroup

Output

- 環境貢献型技術の創出
- 都市整備を支える製品の提供
- 高ブランド製品の提供

Outcome

- 顧客
- 従業員
- ベンダー
- 政府
- 金融機関

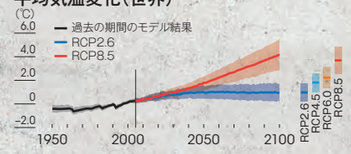
ステークホルダーへの責務の充足

株主価値の最大化

価値創造モデル

塗料業界に関連する社会課題

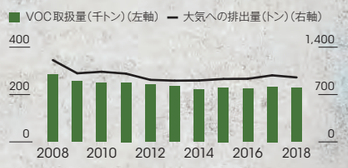
1950年から2100年までの平均気温変化（世界）



出典：IPCC（気候変動に関する政府間パネル）「第５次評価報告書」

世界の平均気温は現在、産業革命前に比べて約１度上昇しています。気温の上昇は、海面上昇や熱波、大雨による河川の氾濫・土砂災害、干ばつなどの大規模な気候変動を引き起こす可能性があるため、その対策が地球規模の喫緊の課題となっています。

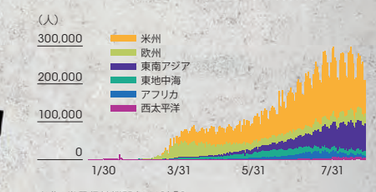
VOC取扱量と大気への排出量（日本）



出典：日本塗料工業会「コーティング・ケア報告書2019」

大気汚染の原因物質の一つとされる揮発性有機化合物（VOC）の排出抑制に向けて、日本では法規制と事業者による自主取り組みで対策が進められています。塗料製造業の代表的な有機溶剤8種類の取扱量は23万トン前後、大気排出量は1,000トン前後で推移しています。

新型コロナウイルス新規感染者数（世界）



出典：世界保健機関（WHO）「Coronavirus disease (COVID-2019) situation reports」

新型コロナウイルスの感染がグローバルで拡大しています。感染爆発はいったん収まる気配を見せたものの、5月に入ると中南米やアジアで感染が深刻化。第2波の発生もあり7月以降の１日当たりの新規感染者数は、20万人を超える日が多くなっています。コロナ禍の対応は長期化が懸念されており、深刻な社会課題になっています。

日本ペイントホールディングス株主価値最大化（MSV）モデル

強み 1

塗料市場シェア

アジア 1 位

世界 4 位

グローバルの塗料市場は成長産業であり、世界人口の増加に伴って塗料需要の確実な伸長が期待できます。当社は現在、アジア１位・世界４位の市場シェアを誇りますが、世界シェアの半分を中小メーカーが占めていること、環境対応や資金力などの面で大手企業でなければ対応できない課題が増えていることなどを踏まえると、今後も当社がシェア拡大を実現する余地は大いにあると考えています。

中国DIY塗料市場におけるシェア

当社において中国をはじめとするアジア事業は成長のけん引役であり、連結売上収益の52%を占めています。世界最大の市場である中国塗料市場が2015~2020年に年平均6.9%と高成長を続ける中、当社は「立邦」の高いブランド力と強力な販売網を武器に、市場シェアNo.1（36%）を誇るなど、圧倒的なポジションを確立しています。

36%

強み 2

DuluxGroup、Betek Boyaの合計売上収益（2019年度）

当社グループは、国内外のグループ会社で自由闊達に協力し合い、シナジーを発揮させることを目的とした「蜘蛛の巣型経営」を推進しています。買収先と既存グループ会社との協業から発生する新たな成長機会の発見や、調達の共通化による原価削減、優秀な人材獲得、ベストプラクティスの共有などを通じ、今後もシナジーの追求に積極的に取り組んでいきます。

1,673億円

※ 上記値は、DuluxGroupとBetek Boyaの業績が通年で寄与したと仮定した場合のプロフォーマー情報（非監査情報）です。

強み 3

強み 4

独立社外取締役比率

67%

グローバルカンパニーとして当社の持続的な成長を確かなものとするため、先進的なコーポレート・ガバナンスの構築に取り組んでいます。2020年３月の株主総会を経て、指名委員会等設置会社へ移行するとともに、取締役９名のうち独立社外取締役が６名を占める体制を整えました。取締役会の透明性・客観性・公平性を確保し、「少数株主権の保護」を図ります。

Output

Outcome

環境貢献型技術の創出

当社は、空気中の化学物質を分解することができる水性塗料や、錫フリーの船底用塗料、抗ウイルス塗料製品など、地球環境の保全や人々の豊かな暮らしの創造に貢献できる製品・技術を多数開発・提供しています。

都市整備を支える製品の提供

都市機能を支えるインフラや建築物は、紫外線や雨風雪などの自然環境にさらされ劣化します。当社は、キズや汚れ、腐食を防ぎ耐久性を高めることができる塗料を提供することで、都市の整備・維持に貢献しています。

高ブランド製品の提供

当社は、中国をはじめとする世界各地の塗料市場で強固なブランドを築いています。製品そのものの付加価値向上や製品を通じたソリューションの提供、顧客との信頼関係の構築などを通じて、さらなるブランド力向上を図っています。

顧客の拡大

売上収益 **6,920億円**

2019年度は、中国事業の進展や海外塗料メーカー2社の買収による顧客拡大により、連結売上収益は6,920億円、前年比10.3%増となりました。

経営への信頼度

社員満足度 **3.70/5点**

当社では、社員を価値創造のための重要な経営資産として位置付け、社員の雇用維持、能力開発、成長支援などに取り組んでいます。その結果、経営に対する信頼へと着実に結び付いています。

顧客からの信頼度

中国経済サミット優れたブランド賞

2017 2018 2019 **3年連続受賞**

中国塗料市場で展開する「立邦」ブランドは、中国経済サミットで「優れたブランド賞」を3年連続で受賞しています。優れた技術力とマーケティング力を背景に強固なブランド力を構築し、高い顧客満足度を獲得しています。

1株当たり当期利益(EPS)※

114.48円

当社の経営ミッションは、ステークホルダーへの責務の充足を果たした上で残存する株主価値を最大化し、リスクを取って投資した株主に報いることだと考えており、SDGs・ESG視点を中核とした価値創造により、EPSの増大を果たしていきます。

※ 日本基準の「1株当たり当期純利益」、IFRSの「基本的1株当たり当期利益」